



2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月9日

上場会社名 株式会社ジェイエスエス
コード番号 6074 URL <https://www.jss-group.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤木 孝夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 濱治 雅弘

TEL 06-6449-6121

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|---|------|---|------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年3月期第1四半期 | 1,956 | | 43 | | 47 | | 30 | |
| 2024年3月期第1四半期 | | | | | | | | |

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 百万円 (%) 2024年3月期第1四半期 百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年3月期第1四半期 | 7.91 | |
| 2024年3月期第1四半期 | | |

(注) 1. 当社は、2025年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2025年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
また、連結子会社のみなし取得日を2024年6月30日としているため、2025年3月期第1四半期においては、同社の2024年6月30日時点の四半期貸借対照表のみを連結しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2025年3月期第1四半期 | 7,794 | 2,819 | 36.2 |
| 2024年3月期 | | | |

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 2,819百万円 2024年3月期 百万円

(注) 1. 当社は、2025年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年3月期の数値については記載しておりません。
また、連結子会社のみなし取得日を2024年6月30日としているため、2025年3月期第1四半期においては、同社の2024年6月30日時点の四半期貸借対照表のみを連結しております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期 | | 7.25 | | 7.25 | 14.50 |
| 2025年3月期 | | | | | |
| 2025年3月期(予想) | | 7.50 | | 7.50 | 15.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

当社は5月14日公表の「株式会社ワカヤマスレティックスの株式取得(子会社化)に関するお知らせ」に記載の通り、2024年5月31日を取得日として株式会社ワカヤマスレティックスを連結子会社化し、連結財務諸表作成会社に移行いたしました。現在連結子会社の財務諸表を精査中であり、業績予想値を合理的に算定する事が困難である事から、連結業績予想は未定といたしました。

今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で、速やかにお知らせいたします。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1 社 (社名) 株式会社ワカヤマアスレティックス、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|-------------|----------|-------------|
| 2025年3月期1Q | 4,026,056 株 | 2024年3月期 | 4,026,056 株 |
|------------|-------------|----------|-------------|

期末自己株式数

| | | | |
|------------|-----------|----------|-----------|
| 2025年3月期1Q | 158,403 株 | 2024年3月期 | 158,403 株 |
|------------|-----------|----------|-----------|

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2025年3月期1Q | 3,867,653 株 | 2024年3月期1Q | 3,867,653 株 |
|------------|-------------|------------|-------------|

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|---------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 5 |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (四半期連結貸借対照表に関する注記) | 6 |
| (四半期連結損益計算書に関する注記) | 6 |
| (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 6 |
| (セグメント情報等の注記) | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。なお、当社は、2024年5月31日を取得日として株式会社ワカヤマアスレティックスを連結子会社化し、当第1四半期連結会計期間より連結財務諸表作成会社に移行いたしました。従いまして、前年同四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表を作成しておりませんので、これらとの比較分析は行っておりません。また、みなし取得日を2024年6月30日としているため、当第1四半期においては、同社の2024年6月30日現在の四半期貸借対照表のみを連結しております。

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、景気は緩やかな持ち直しの動きがみられるものの、インフレの継続や円安進行による消費者物価上昇の影響は大きく、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような中、当社グループは「水を通じて健康づくりに貢献する」という経営理念のもと、より多くの人に心と体の元気を届けるべく、ベビーからシニアまで幅広い層の健康促進に取り組んでまいりました。

会員動向につきましては、春の入会キャンペーンや短期教室、体験会等の施策による集客の強化を実施しましたが、原材料価格高騰等による消費の冷え込み等もあり、依然当社事業への影響が拭えない状況となりました。

子供会員集客の施策では、新規獲得を目的とした、春の入会キャンペーンの他、過去に会員であった人を対象とした「カムバックキャンペーン」や1日体験会を含めた間口を広げた集客の施策を実施する事により、当社の子供向け教育ノウハウの強みを訴求し、会員の獲得に努めてまいりました。

また、中高生を対象としたクラス「JSS部」において、選手育成コースとは異なる楽しく水泳に取り組むことで仲間づくりを支援する等、ストレス解消による勉強への集中力を高める「エンジョイスイミング」コンセプトとし、小学校卒業を機に退会する傾向がある高学年の在籍延長と既にスイミングを卒業した元会員に対する再入会へ向けた取り組みに努めました。

2024年6月より年長から中学3年生までの子供を対象に、専用の機器が不要でご家庭にあるパソコン・スマートフォンを使って学習をするWEB学習システム「デキタス」のサービス提供を始めました。習い事の多様化が進む中、本サービスを当社会員に特別価格で提供する事で学習と運動の両立という新たな習い事による潜在ニーズの掘り起こしと、既存会員へのサービス向上による退会防止に努めてまいりました。

大人会員集客の施策では、国内特許を取得した自社開発の水中バイク「Jパドルバイク」に水中トランポリン、水中ウォーキングプログラムを合わせたオリジナルの水中運動プログラム「バイポリン&ワーク」について、当社事業所にて展開するほか、他社施設への販売拡大にも努めてまいりました。

発達支援事業（JSS水夢）では、JSS水夢八尾山本（大阪府八尾市）と2022年12月開設のJSS水夢北神戸（神戸市北区）の2事業所において、児童発達支援および放課後等デイサービス事業を通じ、子供達に対する個別支援を行う事で地域に貢献をしながら順調な運営を行ってまいりました。

公共施設運営受託では、公共施設「福田屋内スポーツセンター/磐田温水プール」（静岡県磐田市）において、両施設利用者への水泳指導のほか、高齢者の介護予防を目的とする、自社開発の水中バイク「Jパドルバイク」に水中トランポリンを合わせたオリジナルの水中運動プログラムの提供を行いました。

水泳授業受託では、全国的な学校プール施設の老朽化や指導者不足により水泳授業の民間委託が増加するなか、当社の培ってきた専門的な水泳指導のノウハウを活かした小中学校への水泳授業受託を実施しました。今後も自治体からの入札要請やインストラクター派遣依頼に積極的に対応してまいります。

人材の育成および確保では、近年人材獲得競争が激化するスイミングスクール業界において、求職者および従業員に対し、スイミングスクール運営企業で唯一の上場企業としての強みを生かした魅力ある労働環境の整備や教育環境の強化に努めました。

また、人材確保の取り組みとして、専門学校でスポーツ産業への従事を目指す学生に対し、当社事業の大人向け水中運動プログラムを体験する機会を設ける等、将来の当社就職希望者発掘に努めました。

日本テレビホールディングス株式会社との業務提携の状況につきましては、同社100%子会社である株式会社ティップネス（以下「ティップネス」）との協業について、両社のノウハウ・経営資源を持ち寄ることで、両社の企業価値向上に資する効果的なシナジーをさらに強力に推進するため、以下の施策を進めてまいりました。

<ティップネスとの主な協業内容>

- 「地域から水難事故を0（ゼロ）に！着衣泳体験会」の開催
2005年より安全水泳に取り組んでおります当社のノウハウを活かし当社とティップネス社2社共同開催の形で、不慮の事故から命を守る対処法を身につける「着衣水泳体験会」を2024年5月19日にJSSスイミングスクールおゆみ野（千葉市緑区）で開催、6月30日にはJSSスイミングスクール立石（東京都葛飾区）で開催しました。
- オンラインフィットネス配信サービス「トルチャ」の提供
ティップネスが持つオンラインフィットネス配信サービス「トルチャ」を当社会員およびその家族向けに提供し、顧客満足度向上とコロナ禍における施設に頼らない収益確保策の一つとしました。
- JSSキッズファミリープラン
両社が近隣に商圈を持つ事業所において当社子供会員の家族が割引価格でティップネスの事業所を利用出来る「JSSキッズファミリープラン」を設定し、顧客満足度向上につながるものとなりました。
- 協業会議および分科会の定期開催
当社とティップネスとの情報交換の機会として、協業会議および各業務、テーマに沿ったより細分的な会議体としての分科会を実施しております。
- その他
商材や備品の共同購入によるコスト削減や人事採用の情報交換等、両社の強みとスケールメリットを活かした様々な分野におけるシナジー効果を生み出す取り組みを協議し、実施するとともに、更なる施策の準備を進めてまいりました。

このような営業施策の結果、当第1四半期末における全事業所の会員数は81,909人（前年同期比5.4%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,956百万円、営業利益43百万円、経常利益47百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益30百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間末の資産合計は7,794百万円、負債合計は4,975百万円であり、純資産合計は2,819百万円となりました。

なお、当社は2024年6月30日をみなし取得日として株式会社ワカヤマアスレティックスを連結子会社化し、連結財務諸表作成会社に移行したため前事業年度との比較は行っておりません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は5月14日公表の「株式会社ワカヤマアスレティックスの株式取得（子会社化）に関するお知らせ」に記載の通り、2024年5月31日を取得日として株式会社ワカヤマアスレティックスを連結子会社化し、連結財務諸表作成会社に移行いたしました。現在連結子会社の財務諸表を精査中であり、業績予想値を合理的に算定する事が困難である事から、連結業績予想は未定といたしました。

今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で、速やかにお知らせいたします。

なお、個別業績予想につきましては、2024年5月14日に公表しました業績予想から修正を行っておりません。

(参考) 2025年3月期の個別業績予想

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-----|------|-----|------|-----|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | |
| 通期 | 8,369 | 2.9 | 410 | 5.1 | 410 | 0.9 | 263 | 20.6 | 円 銭 68.18 |

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| 当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日) | |
|------------------------------|-----------|
| 資産の部 | |
| 流動資産 | |
| 現金及び預金 | 1,346,160 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 133,647 |
| 商品 | 137,761 |
| その他 | 103,636 |
| 貸倒引当金 | △1,933 |
| 流動資産合計 | 1,719,271 |
| 固定資産 | |
| 有形固定資産 | |
| 建物(純額) | 3,039,257 |
| 土地 | 1,866,691 |
| その他(純額) | 140,659 |
| 有形固定資産合計 | 5,046,608 |
| 無形固定資産 | |
| のれん | 91,718 |
| その他 | 13,282 |
| 無形固定資産合計 | 105,000 |
| 投資その他の資産 | |
| 敷金及び保証金 | 743,363 |
| その他 | 199,143 |
| 貸倒引当金 | △18,640 |
| 投資その他の資産合計 | 923,865 |
| 固定資産合計 | 6,075,474 |
| 資産合計 | 7,794,746 |
| 負債の部 | |
| 流動負債 | |
| 支払手形及び買掛金 | 232,061 |
| 1年内償還予定の社債 | 4,500 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 517,553 |
| 未払法人税等 | 16,884 |
| 前受金 | 569,589 |
| 賞与引当金 | 1,169 |
| その他 | 746,532 |
| 流動負債合計 | 2,088,289 |
| 固定負債 | |
| 長期借入金 | 2,157,722 |
| 退職給付に係る負債 | 68,957 |
| 資産除去債務 | 565,407 |
| 繰延税金負債 | 36,497 |
| その他 | 58,537 |
| 固定負債合計 | 2,887,120 |
| 負債合計 | 4,975,410 |
| 純資産の部 | |
| 株主資本 | |
| 資本金 | 330,729 |
| 資本剰余金 | 125,665 |
| 利益剰余金 | 2,463,112 |
| 自己株式 | △100,171 |
| 株主資本合計 | 2,819,335 |
| 純資産合計 | 2,819,335 |
| 負債純資産合計 | 7,794,746 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) |
|------------------|---|
| 売上高 | 1,956,648 |
| 売上原価 | 1,656,090 |
| 売上総利益 | 300,558 |
| 販売費及び一般管理費 | 256,699 |
| 営業利益 | 43,858 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 107 |
| 貸倒引当金戻入額 | 594 |
| 受取保険金及び配当金 | 2,942 |
| その他 | 2,681 |
| 営業外収益合計 | 6,324 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 1,732 |
| その他 | 1,430 |
| 営業外費用合計 | 3,162 |
| 経常利益 | 47,020 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 47,020 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,384 |
| 法人税等調整額 | 13,030 |
| 法人税等合計 | 16,415 |
| 四半期純利益 | 30,605 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 30,605 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度については記載していません。

また、連結子会社のみなし取得日を2024年6月30日としているため、当第1四半期連結会計期間においては、同社の2024年6月30日時点の四半期貸借対照表のみを連結しております。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前第1四半期については記載していません。

また、連結子会社のみなし取得日を2024年6月30日としているため、当第1四半期連結累計期間においては、同社の2024年6月30日時点の四半期貸借対照表のみを連結しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 一千円 | 54,261千円 |

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループはスイミングスクール運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。